



やすらぎ

岐阜市民病院公式ホームページ <https://gmhosp.jp/>



岐阜薬科大学健康医療薬学
研究室が開設されました

岐阜薬科大学健康医療薬学研究室が岐阜市民病院内に開設されました。当院と岐阜薬科大学は、これまでも薬学生の実務実習などで連携ならびに相互交流を重ねており、未来の薬剤師の卵である薬学生を患者



Contents

- 岐阜薬科大学健康医療薬学研究室が開設されました… P1
- AYA世代のがん患者支援に取り組んでいます・ P2
- オンラインWEB配信による市民公開講座の開催とオンデマンド配信のお知らせ… P3
- 選定療養費改定のお知らせ…………… P4

さんのためになる医療人として育てることに注力してきました。

実務実習では、外来や病棟などで多くの患者さんと接することで、薬剤師としての心構えを身に付けることが重要となります。不慣れでご来院いただく患者さんにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力のほどお願いいたします。

当院は、岐阜医療圏における中核病院の一つとして、高度急性期医療の提供をすめ、市民の命と健康を守るべく、努力を重ねております。今後も市民の皆様には、安心で安全な高度医療を提供するには、変化が激しい医療の進化に敏感に対応し、最新の



情報を利用していくことが必要です。

また、日常診療における新たな疑問を解決するための調査研究も重要であり、それには医療の現場と学術の融合が必要となります。

そこで、当院と岐阜薬科大学は共に岐阜市が設置者であることから、互いの連携をより強化するために連携協定を締結し、2022年4月に岐阜薬科大学のサテライト研究室が岐阜市民病院内に開設されました。当院からは、笠原千嗣副院長が岐阜薬科大学の特任教授に、安田昌宏薬剤部室長が特任准教授に就任し、今後は共同研究により日常診療における課題解決に向けて取り組んでいきます。

この連携は薬学生にとって、臨場感あふれる臨床の現場で学ぶ機会となることに加え、更に多職種でのチーム医療の中の学習や臨床研究に取り組めることは将来薬剤師として臨床の場で活躍するにあたって大いにプラスとなり、人材育成に貢献できると考えています。

この取り組みは、教育・研究および医療に関わる交流、情報交換および相互の施設利用を推進し、両者の一層の発展と岐阜地域の医療、保健、福祉を発展・向上させることを目的としており、心にひびく医療を実践し地域医療の充実に向けて精進してまいります。

AYA世代のがん患者支援に
取り組んでいます
がん診療支援部

AYA世代とは、主に15歳から30歳代までの世代を指します。AYA世代は、就職や結婚など人生の大きな転換期を迎えます。このような時期にがんと診断されると、不安を抱く人が少なくありません。

また、AYA世代のがんに関する情報は少ないといった問題もあります。これらの問題について、「つながる」「知る」「学ぶ」1週間として、AYA WEEKが令和4年3月に企画され、全国でこれに賛同する団体等がイベントを開催しました。



子宮がん細胞の解説



患者さんの作品展

当院では、AYA世代がん患者の支援チーム（AYAサポートチーム）が、岐阜大学医学部附属病院と合同で令和4年3月13日に「AYA WEEK 2022 GIFU」をみんなの森ぎふメディアコスモスで開催しました。イベントは、講演会や相談会の他に、医療者体験コーナーや絵本の展示、患者さんの作品展、クイズラリーなど、親子で楽しみながら学べる内容を企画し、当日は300人を超える方に来場いただきました。

AYA WEEK 2023 GIFUについては、令和5年3月の開催に向けて準備を進めています。イベントに関する情報やAYAサポートチームの活動はAYAサポートチームInstagram (@gnhosp_aya_supportteam) に随時投稿していきますので、ぜひご覧ください。



患者さんの作品展



AYAWEEK2022GIFU

オンラインWEB配信による
市民公開講座の開催と
オンデマンド配信のお知らせ

新たな試みとして、昨年度よりインターネットを用いて講演の様子を配信する、「オンラインWEB配信」を同時開催しております。また、場所や時間を問わずにご視聴いただける、「市民公開講座動画のオンデマンド配信」を開始いたしました。

これまでは、当院西診療棟4階サルビアホールにて市民の方々にご参加いただいております。また、市民公開講座ですが、「オンラインWEB配信」することにより、インターネット環境が整った場所であれば、ご自宅など様々な場所でご視聴いただくことができるようになりました。

配信開始より開催12回を数え、すでに多くの方にご利用いただいております。ご視聴された方々からは、「会場に出かけなくても自宅で勉強できる。」「時間的にとても参加しやすくメリットがある。」「これからも配信で参加したいので、ぜひ続けてほしい。」「などの御意見をいただき、ご好評いただいております。

なお、オンラインWEB配信は、事前のお申し込みが不要となっております。

また、オンデマンド配信を開始しました講座動画は、岐阜市公式YouTube

チャンネルにて、3ヶ月の期間限定で公開しております。

これにより、お好きな時間に、何度でもご覧いただけるようになりました。ご家族やご友人に講座をご紹介いただくこともできます。当日にご覧いただけなかった際にも、過去の講座動画を公開しておりますので、ぜひご活用ください。

詳しくは、YouTubeサイトにて、「岐阜市民病院 公開講座」で検索いただくか、当院ホームページの市民公開講座の動画のページをご覧ください。



講演する笠原千嗣 副院長

今年度第1回の市民公開講座は、最新のがん治療であるがんゲノム医療に関するテーマで、田中卓二がんゲノム医療センター長が「ゲノム医療とは？」を講演いたしました。

第2回は、笠原千嗣副院長が、「血液のがん・急性白血病」トータルセラピーをめざす」を講演いたしました。これらの講座は、期間限定で公開しておりますので、ぜひご覧ください。

これからも、市民公開講座は、毎月1回のペースで開催し、各診療科の医師等により、生活習慣病などの身近な話題から最先端の話題まで、医療に関する幅広い情報をお届けします。毎回、配布資料やスライドを用いて市民の皆様にご覧いただける限り分かりやすくお伝えできるよう心がけてまいりますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

サルビアホールでのご参加については、感染防止対策として、会場が密とならないよう定員数を定め、事前にお申し込みいただく方式を導入しております。また、会場ではマスク着用と手指消毒、十分な換気を徹底し、参加者、出演者の体調確認を行うたうで開催いたしております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、サルビアホールでの開催を中止する場合がありますので、予めご了承ください。

今後の開催予定など、市民公開講座の詳細は、当院ホームページ内市民公開講座のページをご覧ください。



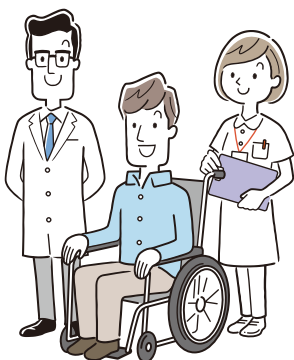
市民公開講座のお知らせ



講演を同時配信する「オンラインWEB配信」の様子



市民公開講座の動画



選定療養費改定のお知らせ

当院のような急性期病院と診療所（かかりつけ医）との「機能分化」の推進を図るため、一般病床200床以上の地域医療支援病院（当院など）では、他の医療機関等の紹介状を持たずに受診する患者さんに対し、原則として、初診時又は再診時に選定療養費を徴収することが義務化されています。

この度、令和4年の診療報酬改定により更なる「機能分化」と「医療機関間の連携促進」のため、令和4年10月1日以降は下記の料金をご負担いただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願い致します。



	令和4年9月30日まで	令和4年10月1日から
【初診時選定療養費】 紹介状を持たずに当院を初診で受診される場合に、通常の診療費の他に別途ご負担いただく費用 ※院内紹介のない他科受診の場合も、初診時選定療養費のご負担が必要になります。	5,500円（税込）	7,700円（税込）
【再診時選定療養費】 当院が他の医療機関に対して、文書による紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず、引き続き当院を受診される場合に、通常の診療費の他に別途ご負担いただく費用	2,750円（税込）	3,300円（税込）

外来診療のご案内

- 診療科目・・・内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、精神科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科

○休診日

土・日・祝日と12月29日～1月3日
 ※詳細はホームページでも紹介しています。

<https://gmhosp.jp/>

新型コロナウイルス対策実施中



岐阜市民病院広報誌「やすらぎ」のバックナンバーについて

当院では、過去に発行した広報誌「やすらぎ」を市民病院ホームページに掲載しています。過去の「やすらぎ」をご覧になりたい方は、市民病院ホームページ内広報誌「やすらぎ」のページからご覧ください。



岐阜市民病院

〒500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地
 TEL 058-251-1101(代表)
 編集発行：岐阜市民病院 広報委員会